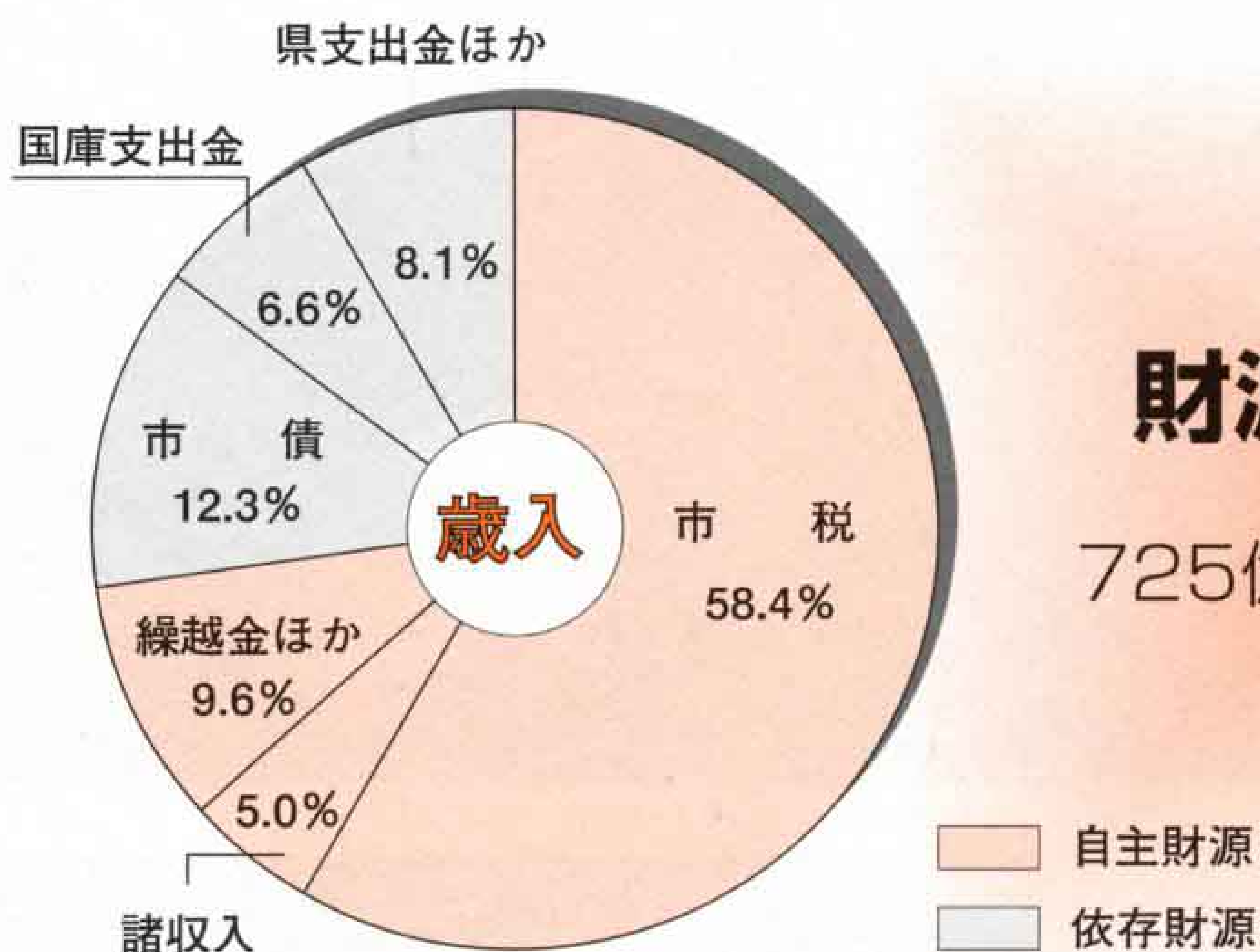


一般会計

◆歳入 会計年度内に入ってきたお金

科目別	収入済額
総額	725億3,685万円
市税 (市民税・固定資産税など)	423億7,178万円
市債 (市の借入金)	89億4,330万円
国庫支出金 (国からの補助金など)	47億6,472万円
諸収入 (貸付金元利収入など)	35億9,662万円
繰越金 (前年度からの繰越金)	29億9,025万円
県支出金 (県からの補助金など)	23億6,993万円
地方譲与税 (国から地方に譲与されるお金)	19億4,825万円
分担金及び負担金 (施設入所者の負担金など)	18億1,943万円
使用料及び手数料 (市営住宅使用料など)	18億1,354万円
自動車取得税交付金 (県から交付される目的税)	7億4,559万円
利子割交付金 (県から交付される利子割県民税)	5億4,412万円
その他	6億2,932万円



市民1人当たりの市税負担額

18万2,760円

※人口23万1,843人で算出
(平成9年3月31日現在)

- 自主財源** 市がみずから収納したり徴収したりできる財源のこと。市民税、固定資産税、使用料や手数料など
- 依存財源** 自主財源に対して、国や県からの収入のこと。市債、国庫支出金、県支出金、地方譲与税など
- 市債** 市が建設事業などを行うため、国や銀行などから長期にお金を借りること

富士市の財政状況を報告します

新世紀に向けて、夢と希望があふれるまち・富士市を目指して

平成八年度の決算のあらましと九月三十日現在の平成九年度一般会計予算の上半期執行状況をお知らせします。
富士市の財政事情と、私たちの税金が未来のまちづくりのためにどのように使われているのかをごらんください。

決算のあらまし

平成8年度は、長期化した景気の低迷などにより厳しい財政状況でしたが、5年後に到来する21世紀を見据え、明るさと幸せを実感できる市民生活の実現に重点を置いて、さまざまな事業を行いました。

主な事業として「富士マリリンプール」や「広見公園」の完成のほか、新市施行30周年記念式典などが挙げられます。



富士マリリンプール

新市施行30周年記念式典



一般会計の決算額は歳入が725億3,685万円で、歳出は696億9,625万円でした。

歳入は市税などの自主財源が73.0%、国庫支出金などの依存財源が27.0%でした。

歳入で一番多いのは、市民税や固定資産税などの市税で、全体の58.4%を占めています。この額は富士市民1人が約18万2,760円を負担していることになります。

歳出を科目別に見てみると、土木費がトップで全体の22.3%を占めています。広見公園や江尾公園の整備や市道の補修など、市民生活の充実のため155億6,261万円使いました。なお、歳出を市民1人当たりに使ったお金の換算すると、約30万618円になります。

平成8年度

◆歳出 会計年度内に使ったお金

科目別	支出済額
総額	696億9,625万円
土木費 (道路や公園などの整備に)	155億6,261万円
教育費 (学校整備や社会教育に)	113億 493万円
民生費 (社会福祉などに)	107億4,893万円
衛生費 (ごみ処理や病気の予防に)	86億5,805万円
公債費 (借りたお金を返すために)	74億3,952万円
総務費 (庁舎管理や人件費などに)	66億8,749万円
消防費 (消防・水防・防災のために)	33億1,812万円
労働費 (働く人のために)	20億3,016万円
農林水産業費 (農林業や水産業のために)	17億8,094万円
商工費 (商業や工業の発展のために)	15億8,577万円
議会費 (議会の運営のために)	5億5,902万円
その他	2,071万円

目的別歳出

696億9,625万円



市民1人当たりに使ったお金 30万618円

道路や公園の整備に
6万7,125円



社会福祉などに
4万6,362円



学校教育や社会教育に
4万8,761円



ごみの処理や病気の予防に
3万7,344円



平成8年度

企業会計決算

◆病院事業

事業収益合計 115億3,602万円
 事業費用合計 115億 794万円
 純利益 2,808万円



◆水道事業

事業収益合計 26億3,855万円
 事業費用合計 26億1,582万円
 純利益 2,273万円



富士市には、十六の特別会計と二つの企業会計があります。

特別会計決算

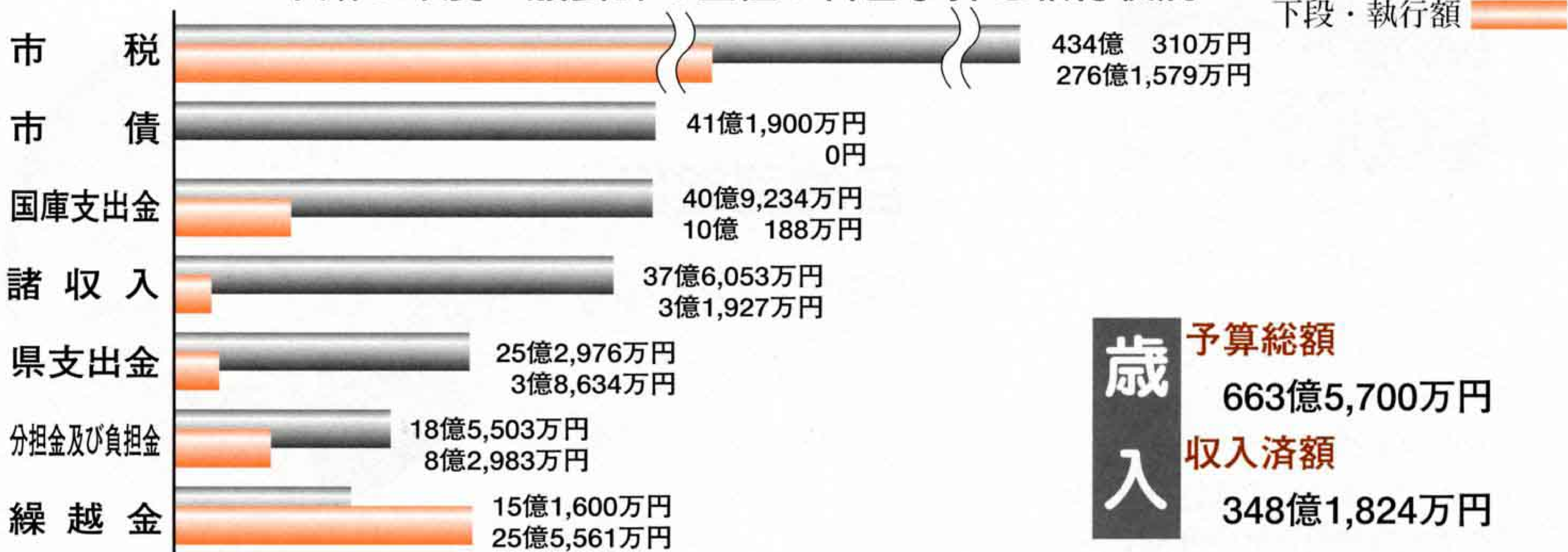
歳入 361億5,154万円
 歳出 353億 556万円

特別会計区分	歳入	歳出
国民健康保険事業	116億3,828万円	112億2,908万円
老人保健医療事業	116億2,422万円	115億4,865万円
下水道事業	102億7,931万円	102億6,031万円
富士中部土地区画整理事業	11億3,628万円	11億 761万円
公共用地先行取得事業	4億1,401万円	4億1,401万円
地方卸売市場事業	2億4,024万円	2億3,768万円
駐車場事業	6,671万円	6,392万円

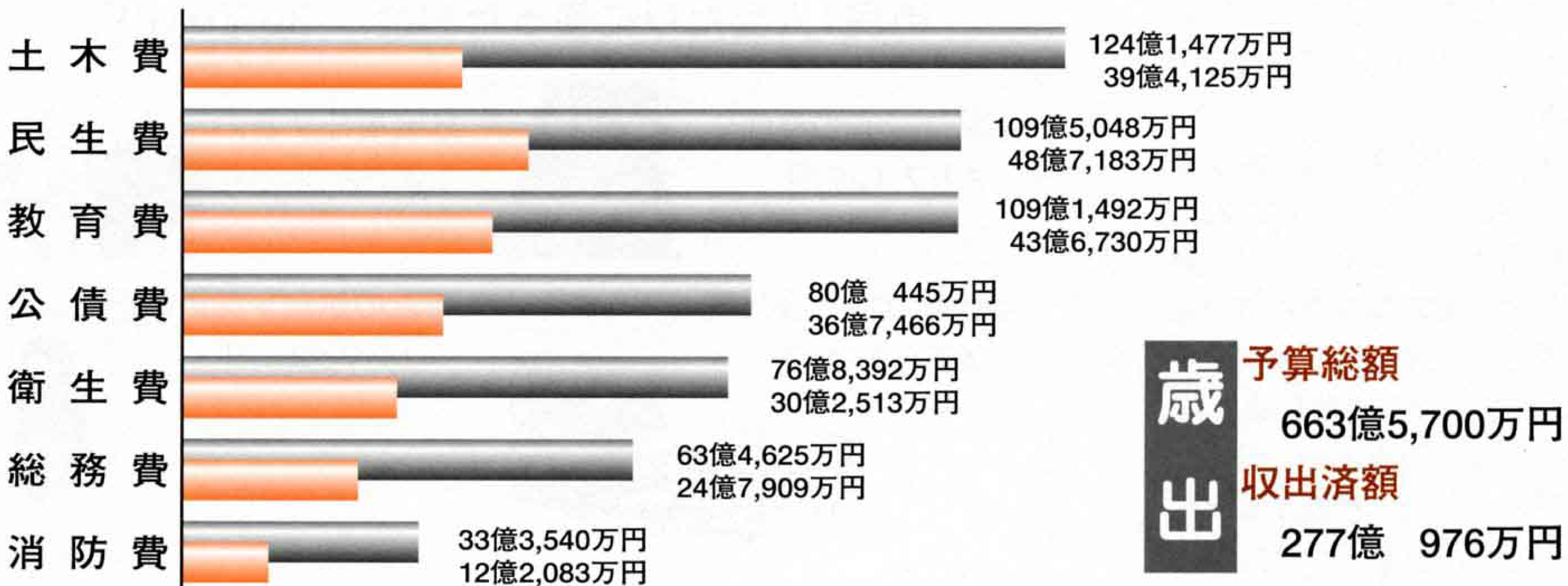
・財産管理特別会計（内山、旧吉原、旧島田、旧今泉、旧今泉・一色・神戸・今宮、旧元吉原、旧須津、旧吉永、旧原田）を省略しています。

平成9年度一般会計は追加補正して663億5,700万円

平成9年度一般会計の上位7科目予算と執行状況



歳入
 予算総額 663億5,700万円
 収入済額 348億1,824万円



歳出
 予算総額 663億5,700万円
 支出済額 277億 976万円